

# ジェンダー平等ミーティング

令和5年度  
若い世代からの  
ジェンダー平等  
推進事業

7月26日(水)テーマ

「学校とジェンダー」



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## 身近にあるジェンダーから

- ・学校は、昔は男子は丸坊主、女子は髪をくくるなど制限があったが、今は自由  
女子はズボンもスカートも選べる
- ・部活で男女混合はない（スポーツ系）  
文化部は男女混合
- ・結婚すると女性が名字を変えるというのが今も強く残っている
- ・女性専用車両はあるのに、男性専用車両は聞かない
- ・育児をしたら、なぜイクメン？
- ・レディースデーはあるのに、メンズデーはない

- ・校長先生は男性が多い
- ・育休は男性が取りづらい
- ・男性からすると、プロポーズ、ナンパ  
女性からすると、逆プロポーズ、逆ナンパ
- ・女性が働く社会になったが、子育てと仕事の両立は女性がしなければならない
- ・世代が上の人の方が、男女の意識（固定的性別役割分担意識）が強い
- ・名前のない家事は女性が多くやっている

- 男性が料理をするとモテる → 女性はやって当たり前
- ○○男子、○○女子という言葉はすでに偏っている
- スポーツ、体力（持久走など）は違うので難しいが、平等にできたらよい（今の学校の体育などは、差があると感じる）
- 出席番号が男女で別だった
- メディアの影響 → あこがれ
- 男性よりも女性の方が、ジェンダーなどの意見を多く出すイメージがある

## 学校でこんなことをしてみてもいい？

- 教科書のイラストにもっと気をつける  
スカート、色づかいなど
- 制服などの標記  
男児用・女児用ではなく、子ども用にするなど
- 髪型をもっと自由に  
男子が長くてもOK
- 先生もジェンダーフリーの物を持つ（使う）
- メイク  
男性もメイクを

## 学校でこんなことをしてみてもいい？

- 名前の呼び方  
「ちゃん」「くん」はやめて、「さん」で統一
- 委員会における男女制度をやめる
- 役割を決めない（色、着るもの）
- 先生への教育が必要（きちんとした知識を身に付けてもらう）
- 校外学習でジェンダー平等にかかわる場所を見学
- 自由研究や探究学習のテーマの一つとして取り上げる
- 特別講師を呼んで授業をしてもらう

## 学校でこんなことをしてみてもいいか？

- ・今の小中学生にジェンダーをしっかりと教えていくと世の中は変わっていくのではないか
- ・段階に合わせて深めていき、何度も繰り返して指導する  
年齢があがるにつれて、より具体的な内容を
- ・カリキュラムを作る  
モデル校を作る
- ・色分けをなくす  
幼稚園保育園でのマーク      (下駄箱やロッカーなど)

## 感想

- ・年代の違いで気づきの違いがあって面白かったです。
- ・教育を変えるっていうより、先生の固定概念を無くすことへの難しさを実感できました。
- ・ジェンダー不平等を解決するために学校で取り組むべきことを話し合っって様々な意見を聞くことができて勉強になった。ジェンダーについてもっと多くの人に知ってもらう必要があると思った。
- ・意外と身のまわりにジェンダーの差別的なことがあると気づいた。それに気づくことが大切なのだと感じた。当たり前のように思っってはいけない。
- ・ミーティングの時間が長かったため、様々な意見を聞いて話すことができて非常に勉強になりました。



## 感想

- ・身近にジェンダーの課題があるのは分かっていましたが想像以上にたくさんあって、完璧にジェンダー平等とはいかないとは思いますが、少しずつジェンダーを知ってもらって平等に近づけばいいなと思いました。
- ・大学生だけでなく、小学生や高校生も参加してくれたことで様々な視点から色々な意見が聞けて勉強になりました。
- ・いろいろな人のたくさんの意見を聞くことができ、自分自身も学ぶことができたし、今後学校や学校じゃないところでもジェンダーへの考えが広がっていけばいいなと思いました。
- ・小学生からの話を聞いて今では昔と違って、様々なことが改善、改正されているんだと知りました。また、小学生でも問題に感じているのだと認識できました。

## 感想

- ・身近にジェンダーの問題はたくさんあるが、完全にジェンダーの不平等を無くすことは難しいので、他者を理解する個人の思いやりや気持ちが必要だと感じた。
- ・今まで自分が当たり前だと思っていたこともジェンダーをいう目線から見るとジェンダー平等とは言えない部分もあると気づきました。大学生と関わる機会は初めてだったのですが理系の大学ではジェンダーの授業が取り入れられていないなど教育が行き届いていない部分もあるのかなと思いました。
- ・身近なところにジェンダー問題は、たくさんあるけど、すべて解決するのは難しい。そのため、1人ひとりがジェンダーについて理解を深めていく必要があると思います。
- ・わりと若い世代はみんなちゃんと意識している方が多いと思います。

## 感想

- ・小さいことからジェンダーやLGBTQなどのことを学ぶことで、今後日本や国民全体の考え方も変わっていくのかもしれないと思いました。男女平等を意識して世の中を見てみると今の日本はまだまだ不平等なことも多く残っていると感じました。
- ・今回ジェンダー平等ミーティングに参加してみて、前回とは違う視点からジェンダーについて考え、グループで話し合いを行うことで今後もジェンダーが小さいころから浸透して誰でも過ごしやすい環境ができればいいなと思いました。また、どんどんジェンダーについて学ぶ場が増えればいいなとも思いました。
- ・今回初めて参加して、正直ジェンダー平等に関心のある若い世代の人は、本当にわずかなのではないかと思っていました。ですが、今回のこのミーティングでたくさん関心がある方がおられることにびっくりしました。機会があればまた参加させていただきたいです。